

桐光会へのお礼メッセージ (2012年度)

#1

この度は桐光会奨学金選考において、桐光会奨学生として採用していただきありがとうございます。桐光会のおかげで、後期の授業料を納入することができました。これからは、国家試験合格を目標に、一生懸命頑張っていきたいと思います。

奨学金の給付が決まるまで、とても不安でした。採用が決まり、学納金を納入することができ、残り少ない学生生活を送ることができ、喜びを感じています。そして、心から感謝申し上げます。

理学療法学科奨学生本人

#2

このたびは、桐光会奨学生として採用していただき、ありがとうございました。

娘が病院実習で頑張っている姿を見ながら、突然の失職で学費の工面に悩んでおりましたので、今回のありがたいご連絡に安堵いたしております。

今後は、娘も夢の実現に向かって国家試験の勉強に集中できると思います。

お世話になった関係者の皆様、親身に相談に乗っていただいた先生方に心から感謝申し上げます。

理学療法学科奨学生保護者

#3

この度は、桐光会奨学生としての採用をいただきありがとうございました。採用を頂くまでは緊張した日々を過ごしておりましたが、卒業まで目白大学の学生として籍を置けることへ改めて身の引き締まる思いが致します。

これからも初心を忘れず日々努力し悔いの無いように充実した毎日を過ごしたいと思います。どうか今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

まずは、お礼を申し上げたくお便りいたしました。

ありがとうございました。

作業療法学科奨学生本人

#4

この度は、桐光会奨学生として採用していただきありがとうございました。採用していただいたことで、残りの学生生活を充実したものとなるように努力していきたいと思います。

2月には国家試験が控えているので、合格できるように試験に向けて頑張っていきたいと思います。

今後も「桐光会」に支援を受け、学生生活を充実させることができる学生がいると思いますので、続けていってほしいと思います。

作業療法学科奨学生本人

#5

この度は、桐光会奨学金に採用していただきまして、誠にありがとうございます。
このような多大なるご支援をしていただいたことに心から感謝しております。
家庭の経済状況が厳しい中、学費のことに不安な気持ちもありましたが、今回、学費の補助をしていただいたため、安心して勉学に励むことができいております。このことは、ひとえに桐光会の皆様のおかげであり、心より感謝しております。ご支援頂きましたことを胸に、今後一日一日を大切に、より一層勉学に励み、国家試験に臨みたいと考えております。

看護学科奨学生本人

#6

この度は、桐光会奨学生として採用していただきましてありがとうございました。不況による父の退職と体調不良による入院の為、今学期の学費を全額納めることは厳しい状況にありました。そんな中、桐光会からのご援助を受けることで、無事学費を納めることができ、勉強を続けていくことができました。心から感謝いたします。

今後、より一層勉学に勤しみ、今回のご支援を無駄にしないようにいたします。

理学療法学科奨学生本人

#7

この度は桐光会奨学生としての採用をしていただき、ありがとうございます。
残り少ない学生生活を充実させるためにも日々目標を持って生活したいと思います。

心理カウンセリング学科奨学生本人

#8

このたびは、「桐光会」奨学金の件で、援助していただけること、誠にありがとうございます。私をはじめ、両親共々大変嬉しく思っております。
父が退社を決めた時は、正直不安ばかりでしたが、今こうして皆様から支援を受けられ、卒業へ近づけたこと、とても感謝しております。残り少ない学生生活となりますが、皆様から支援していただいたことを忘れず、目白大学生として社会に出た時、恥をかかぬよう、日々勉学に励んでいきたいと考えています。

最後になりましたが、皆様のさらなるご発展及び、ご多幸をお祈り申し上げます。

地域社会学科奨学生本人

#9

この度は桐光会奨学生として採用していただき、深く感謝いたします。私は目白大学が大好きであり、学生、教員方、並びに留学生とも深い親交がありました。このような素晴らしい環境で学業を修められたこと、そして奨学金も頂き、私は今後就職先ではこの目白大学で学んだ全てのことを活かせていけたらなと思っている次第です。

残り少ない学生生活ですが、この短い期間で、目白大学に私ができることは何かを考え、少しでも目白大学に貢献できることをしたいと思っています。学科ではクラス1の成績を目指し、今所属している留学生支援グループではできる限り参加し、留学生を助きたい、教員方や事務員の方に少しでも役に立てる仕事であればひき受けたいと思っています。

中国語学科奨学生本人

#10

多くの学生の中、今回の奨学金を頂き、誠に感謝申し上げます。

「桐光会」という存在は、ほんとに大事だと思います。このような返済の必要がない奨学金の制度があるから非常にありがたいです。

経済状況、家の事情より最後の最後まで通学できない学生が増えてきています。最終学年で、学費が払えないため退学する学生も出ています。しかし、この制度があるからこそ本当に支援してほしい学生にとって、最後の一年を安心して無事に卒業できそうです。このことを通して「人間性」ということを学びました。恵まれない学生に心暖かい支援があることはすばらしいと思います。私は最後の学期をしっかり勉強し、残りの大学生活を充実したものとしたいです。大学を出ても、人間性を伝えて社会に貢献していきたいと考えています。

日本語・日本語教育学科（留学生）奨学生本人

#11

この度は、桐光会奨学生に私を選んで頂き、大変光栄に思っております。また奨学金支給という経済的な援助をして頂いたことを私も両親も心から感謝しております。

今後は、桐光会奨学生としての自覚を持って学業に専念し、残りの学生生活を頑張っていきたいと思っております。

この度は、本当にありがとうございました。

日本語・日本語教育学科奨学生本人

#12

この度は、娘を桐光会奨学生として採用していただきまして、本当にありがとうございました。

皆様にはお忙しいなか、いろいろとお骨折りいただき深く感謝申し上げます。

二年間という短い学校生活ではありますが、本人はとても楽しく通わせていただいております。サークル活動や文化祭などにも懸命に取り組む姿は少しくましくなったなと感じられました。援助のおかげで本人も気持ちを楽に残りの学校生活や就職活動に励んでくれるものと思います。私も心して本人を支えていこうと思っています。

簡単ではございますが、お礼の言葉とさせていただきます。

生活科学科奨学生保護者

#13

この度は、「桐光会」奨学金に採用して頂き、ありがとうございました。今後はよりいっそう勉学に励み、卒業後、目白大学での学びを存分に発揮したいと思います。

目白大学での学びは、介護士になるための知識だけではなく、1人の人間として学ぶことも多くありました。この2年間の経験と、日々の学習で得た事を生かしていきたいです。そして、将来思いやりのある、誰からも尊敬される介護士になれるよう、努力することを忘れません。

何より、今まで支えてくれた家族や、成長させてくれた先生方への感謝の気持ちを忘れずに、残りの学生生活を充実したものにします。

本当に、ありがとうございました。

生活科学科奨学生本人

#14

この度は、桐光会奨学金をお手配いただき誠に有難うございます。

不景気で父親の減収と母親がガンになり、今年の学費の支払いが非常に困難になりました。

このような状況で桐光会奨学金をいただいたため、学費支払いをすることができました。現在、不安な心持をすべて消すことができ、集中して勉強できます。

桐光会の皆様に心から御礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

今後は、卒業に向け精一杯取り組んで行きたいと思います。ご恩と感謝を、ずっと忘れません。

経営学科（留学生）奨学生本人

#15

今回奨学金をいただいて、とても嬉しく思います。

私は、上京して一人暮らしをいるということもあり、金銭面には敏感な部分があります。今回いただいたこの奨学金を無駄にしないように、より一層勉学にはげんでいこうと思います。

また、私の為に常日頃頑張ってくれている両親の為に、より一層勉学に力を入れていこうと思います。

韓国語学科奨学生本人